

住友化学

CORPORATE PROFILE

住友化学株式会社

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号 東京住友ツインビル(東館)
TEL: 03-5543-5500 FAX: 03-5543-5901

〒541-8550 大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友ビル
TEL: 06-6220-3211 FAX: 06-6220-3345

<http://www.sumitomo-chem.co.jp>



かがくの夢、 くらしの中に。

私たち住友化学の製品や技術は、実は毎日のように皆さまに出会っています。たとえば、クルマやスマートフォン、いま着ている洋服、おいしく実った果実、病院で処方されたクスリなど、さまざまなものの中に存在しています。気がつかないけれども、まるで空気のように暮らしをしっかりと支えている大切なもの。いつも身近にいて、豊かで快適な暮らしづくりをお手伝いし、もっともっと役立つ存在でありたいと願っています。

CONTENTS

企業理念	P3-4
石油化学部門	P5-6
ポリエチレン、ポリプロピレン、メタクリル樹脂などの合成樹脂、合成繊維原料から各種工業薬品まで、多岐にわたって暮らしを支える製品を提供しています。	
エネルギー・機能材料部門	P7-8
省エネルギー製品に使われる材料や、自動車の燃費性能向上に寄与する製品、次世代自動車に用いられる部材など、地球規模の課題である環境・エネルギー問題の解決に貢献する高性能な機能性材料を幅広く提供しています。	
情報電子化学部門	P9-10
IT関連産業を支える製品を幅広く供給するとともに、顧客のニーズに対応した高機能・高付加価値製品をタイムリーに提供しています。	
健康・農業関連事業部門	P11-12
農業、肥料、飼料添加物などの供給を通じて農業や畜産の生産性向上に貢献するほか、衛生的で健康な生活を実現するため、家庭用・防疫用殺虫剤、医薬原体・中間体を製造・販売しています。	
医薬品部門	P13-14
医療用医薬品事業を中心とする大日本住友製薬(株)と、診断用医薬品事業を中心とする日本メジフィジックス(株)の両社を軸に展開しています。	
研究開発	P15-18
国内拠点	P19-20
海外拠点	P21-22
CSR	P23-25
会社概要	P26

いままでも、これからも。 変わらない私たちの行動と理念。

当社を含む住友各社に受け継がれてきた住友の事業精神を踏まえ、住友化学としての基本精神や使命、価値観を、「経営理念」として明文化しています。

経営理念

住友化学は、

1. 技術を基盤とした新しい価値の創造に常に挑戦します。
2. 事業活動を通じて人類社会の発展に貢献します。
3. 活力にあふれ社会から信頼される企業風土を醸成します。

住友化学の従業員として今後も大切にすべき誇りやこだわり、将来に向けて新たに強化し大切にしていけるべきことなどをつづっています。

コーポレートステートメント

私たち住友化学は、17世紀から続く住友の事業精神を引き継ぎ、1913年、銅の製錬に伴い発生する排出ガスから肥料を製造し、環境問題克服と農産物増産をともにはかることから誕生しました。

創業から1世紀。私たちは、自社の利益のみを追わず事業を通じて広く社会に貢献しているという凛とした理念のもと、安全・環境・品質に細心の注意を払いながら、時代とともに多様な事業を展開し、絶えざる技術革新で人々の豊かな暮らしを支えてきました。

これからも、様々な発想、価値観や技術を融合させて化学の枠にとどまらない新たな価値を生み出すことで、身のまわりの快適な衣食住の実現から、地球規模の食糧問題、環境問題、資源・エネルギー問題の解決まで、積極果敢にチャレンジし続けます。

そのために社員一人ひとりが、高い使命感と情熱を持って、切磋琢磨し、日々新しい可能性を追求しながら、課題を突破していきます。

世界中に信頼と感動の輪を

コーポレートスローガン

豊かな明日を支える
創造的ハイブリッド・ケミストリー

コンプライアンスと自己責任に基づいた企業活動を行うことを自らの社会的責任と考え、コンプライアンス体制の拠り所となる基本的精神として、10カ条を制定しています。

住友化学企業行動憲章

1. 住友の事業精神を尊重し、世の中から尊敬される「よき社会人」として行動する。
2. 国内外の法令を守り、会社の規則にしたがって行動する。
3. 社会の発展に幅広く貢献する、有用で安全性に配慮した技術や製品を開発、提供する。
4. 無事故、無災害、加えて、地球環境の保全を目指し、自主的、積極的な取組みを行う。
5. 公正かつ自由な競争に基づく取引を行う。
6. 健康で明るい職場づくりを心がける。
7. 一人ひとりが、それぞれの分野において、高度な技術と知識を持ったプロフェッショナルになるよう、研鑽していく。
8. 株主、取引先、地域社会の方々等、企業をとりまくさまざまな関係者とのコミュニケーションを積極的に行う。
9. 国際社会の一員として、世界各地の文化・慣習を尊重し、その地域の発展に貢献する。
10. 以上の行動指針に基づく事業活動を通じ、会社の健全な発展に努める。



豊かな生活の実現に役立つ 基礎原料や合成樹脂を幅広く提供し、 人々の暮らしを支えます。

ポリエチレン、ポリプロピレン、メタクリル樹脂などの合成樹脂や、
合成繊維原料、各種工業薬品など、顧客の幅広いニーズに応え、
さまざまな産業の礎となる化学製品を提供しています。



プロピレンオキサイド

ポリウレタンやプロピレングリコールの原料に使われます。ポリウレタンは断熱材やクッション材に、プロピレングリコールは医薬品や化粧品に使用されています。



プロピレンオキサイドを原料として作られたクッション材を使用する自動車シート

カプロラクタム

代表的な合成繊維の一つであるナイロンの原料で、衣料品やカーペット、タイヤコードなどに使われています。また、紡糸しないナイロンは、樹脂として、自動車、電気製品、食品包装用フィルムなど、多岐にわたり使用されています。



カプロラクタムとナイロン製品

ポリエチレン

柔軟性があり、耐水性・耐薬品性が高く、加工性に優れた合成樹脂です。ラップフィルムや食品用チューブなどの包装材、電線被覆、農業用ハウスに使われるフィルムなどに、幅広く使用されています。



ポリエチレンを用いて作られたさまざまな製品

ポリプロピレン

軽量で加工性、耐久性、耐熱性、耐薬品性など多くの優れた特性をもつ合成樹脂です。自動車のバンパーやインストルメントパネル、食品用トレイ、家電、医療器具などに、幅広く使われています。



ポリプロピレンで作られた自動車のインストルメントパネル

メタクリル樹脂

合成樹脂の中でも抜群の透明性と耐候性、美しい光沢を持っています。自動車のテールランプや看板、水族館の水槽、液晶ディスプレイの光学部品などに、幅広く使用されています。



メタクリル樹脂を用いて作られた水族館の大型水槽

【取り扱い製品】

- 石油化学品事業部：エチレン/プロピレン/ブタジエン/イソブチレン/ブテン-1/ペンゼン/トルエン/キシレン/ヘキサン/プロピレンオキサイド/アセトアルデヒド
- 工業薬品事業部：硫酸/硝酸/液体亜硝酸ソーダ/硝酸/液体アンモニア/苛性ソーダ/塩酸/アニリン/メタノール/ホルマリン/アクリロニトリル/カプロラクタム/アジピン酸/エピクロルヒドリン
- ポリオレフィン事業部：低密度ポリエチレン「スミカセン®」/直鎖状低密度ポリエチレン「スミカセン®-L」「スミカセン®α」「スミカセン®Hiα」/メタロセン直鎖状低密度ポリエチレン「スミカセン®EP」「エクセレン®GMH」/エチレン酢酸ビニル共重合樹脂「エバテート®」「スミテート®」/ポリプロピレン「住友®ノーブレン®」「エクセレン®」
- 自動車材事業部：ポリプロピレン「住友®ノーブレン®」「エクセレン®」/熱可塑性エラストマー「エスポレックス®」
- メタアクリル事業部：メタクリル樹脂「スミベックス®」/MMAモノマー/アクリルシート

地球規模の課題である 環境・エネルギー問題の解決に、 機能性材料で貢献します。

省エネルギー製品に使用されるアルミナ、アルミニウムから、高性能な高分子添加剤やゴム用薬品、さらに、電子部品・次世代自動車に用いられるスーパーエンジニアリングプラスチックやリチウムイオン二次電池部材まで、環境負荷の低減や省資源・省エネルギーに貢献する機能化学品を幅広く提供しています。

アルミナ

99.99%以上の純度の高純度アルミナや低ソーダアルミナを供給しています。高純度アルミナは、LED照明の基板となるサファイアや、リチウムイオン二次電池部材、半導体製造装置のセラミックス製部材などに、低ソーダアルミナは、液晶ディスプレイ用ガラスやICパッケージ、自動車プラグなどに使用されています。



アルミナ粉末とアルミナを使用した製品

アルミニウム

ニュージーランド、オーストラリア、ブラジルでのアルミニウム開発プロジェクトで生産されるアルミニウム地金を輸入し、国内に安定的に供給しています。高純度アルミニウムは、99.99%以上の純度を有し、アルミニウム電解コンデンサー用箔や液晶ディスプレイ、半導体の配線材料など、高機能分野で使用されています。



アルミニウム地金

レゾルシン

タイヤや木材用の接着剤、難燃剤や紫外線吸収剤の原料として使用されています。



レゾルシン

合成ゴム

弾力性に優れ、耐油性や耐候性、耐摩耗性など、さまざまな特性を持っています。タイヤをはじめ、窓枠やドアのシール材、ホース類、パッキング類などの自動車部品のほか、建材、シューズなどにも使用されています。



合成ゴムで作られた自動車タイヤ

スーパーエンジニアリング プラスチック

耐熱性、強度、耐薬品性に加え、加工性にも優れる高性能樹脂です。軽量化・微細化の要求に応える材料として、電気・電子用途から、産業・自動車向けへの用途拡大が進む液晶ポリマー（LCP）や、電気・電子用途のほか航空機用炭素繊維複合材料、高機能分離膜材料、耐熱コーティングにも使用されるポリエーテルサルホン（PES）があります。



スーパーエンジニアリングプラスチック

リチウムイオン二次電池用部材

リチウムイオン二次電池は、シート状の正極と負極、その間にショートを起こさないよう電気絶縁性を備えたセパレータを挟み込んだ構造となっています。住友化学はセパレータと正極材について事業展開を進めています。



セパレータ「ベルヴィオ®」

〔取り扱い製品〕

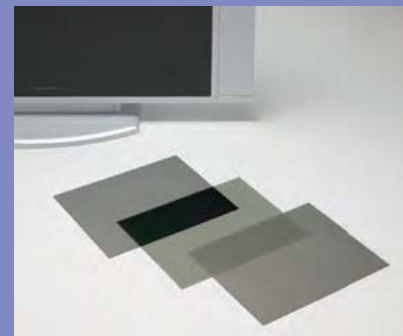
- 無機材料事業部：水酸化アルミニウム / アルミナ / 活性アルミナ / アルミン酸ソーダ / 高純度アルミナ / アルミニウム / 高純度アルミニウム
- 化成事業部：レゾルシン / 高分子添加剤（酸化防止剤 / 光安定剤） / 染料（分散染料 / 反応染料） / ポリマーエマルジョン（EVAエマルジョン / エチレン塩ビエマルジョン）
- 機能樹脂事業部：超低密度ポリエチレン「エクセレン® VL」 / 特殊エチレン系ポリマー「アクリフト®」 / ポンドファースト® / オレフィン系プラストマー「タフセレン®」 / 「エスブレン® SPO」 / 液晶ポリマー「スミカスーパー® LCP」 / ポリエーテルサルホン「スミカエクセル®」 / エチレン・プロピレンゴム「エスブレン® EPDM」 / ゴム用薬品（加硫促進剤 / RF樹脂）
- 電池部材事業部：リチウムイオン二次電池用セパレータ「ベルヴィオ®」

ますます高度化するIT社会に、 先端技術で応えます。

液晶ディスプレイに使用される光学機能性フィルム・カラーレジスト、
半導体製造過程で用いられるフォトレジストや高純度薬品、
携帯電話やスマートフォンのアンテナスイッチ、アンプなどの
デバイスに利用される化合物半導体（MOエビウエハ）、
半導体チップの配線材料として使用されるアルミターゲットなど
ICT関連産業を支える製品を幅広く供給しています。
顧客のニーズに対応した高機能・高付加価値製品を
タイムリーに提供するとともに、
次世代技術・材料開発にも努めています。

偏光フィルム

スマートフォンやタブレット端末、液晶テレビなどの、
液晶ディスプレイには不可欠な部材です。



偏光フィルム「スミカラン」

カラーレジスト

液晶ディスプレイ画面には、従来以上に高輝度、
高コントラスト、高色再現性が求められています。
その色特性を左右するカラーフィルターの製造に
不可欠な材料です。



カラーレジスト「ダイブライ」

フォトレジスト

半導体やプリント基板に高密度・高集積の回路パ
ターンを作る工程で使われる感光性樹脂です。



フォトレジスト「スレジスト」

化合物半導体(MOエビウエハ)

GaAs（ガリウムヒ素）、GaN（窒化ガリウム）
をはじめとする化合物半導体は、シリコン半導
体に比べ、高速、高耐圧特性に優れており、スマ
ートフォンや携帯電話のアンテナスイッチ、アンプ
などに用いられています。



化合物半導体（MOエビウエハ）
※（株）サイオクス取り扱い製品

〔取り扱い製品〕

- 光学製品事業部：偏光フィルム「スミカラン」/ 導光板
- 電子材料事業部：フォトレジスト「スレジスト」/ 電子工業用高純度薬品 / スパッタリング用アルミターゲット / カラーレジスト「ダイブライ」

より豊かで持続的な 食糧の安定供給や人々の健康に 貢献しています。

農作物の安定的な供給、世界の人口増加に対応するための食糧増産、
感染症の蔓延防止、衛生的で健康な生活の実現などに貢献するため、
農薬や肥料、飼料添加物のほか、家庭用・防疫用殺虫剤、医薬原体・中間体などを
製造・販売しています。

農業関連製品

農作物などに被害をもたらす多くの種類の害虫に効果を
を発揮する殺虫剤や、作物に応じた除草剤、農作物の病
気や土壌病害を防止する殺菌剤に加え、環境保全型農
業に対応した生物農薬など幅広い製品を供給していま
す。また、国内においては、グループ会社と共に農薬、肥
料、農業資材等の農業関連製品やサービスを幅広く提
供する事業を展開しているほか、コメ生産者への種粉
や農薬・肥料の提供、栽培管理の支援、収穫したコメ
の販売などを一貫して行うコメ事業も手掛けています。



農業用殺虫剤や除草剤

生活環境関連製品

屋内外で使用する殺虫剤（蚊取り線香、液体蚊取り、
エアゾールなど）や虫除け樹脂製剤等に用いられる
ピレスロイド系薬剤とそのデバイスや、衣料防虫
剤用薬剤、シロアリ用薬剤、動物薬用原料などを
製造・販売しています。



当社製品が使われている家庭用殺虫剤

感染症対策製品

マラリアを媒介する蚊から身を守るための蚊帳
「オリセット®ネット」や、蚊の幼虫向けの殺虫剤
など、感染症予防の製品を製造・販売しています。



「オリセット®ネット」

飼料添加物

主に養鶏に用いられるメチオ
ニンを製造・販売しています。
メチオニンは必須アミノ酸の
一種であり、飼育対象動物
の成長を促進する働きがあ
ります。

飼料添加物DL-メチオニン、
メチオニンヒドロキシアナログ



医薬原体・中間体

高度な有機合成技術と品質保証体制をベースに、
医薬原体・中間体の受託開発と、独自製法にもと
づく医薬原体の製造・販売を行っています。



医薬原体

〔取り扱い製品〕

- アグロ事業部、国際アグロ事業部：農業用殺虫剤／農業用殺菌剤／農業用除草剤／植物生長調整剤／生物農薬／肥料／コメ
- 生活環境事業部：家庭用殺虫剤／衣料用防虫剤／防疫用殺虫剤／シロアリ用薬剤／合板防虫・防蟻剤／芳香・消臭デバイス「エアノード®」／
長期残効型防虫蚊帳「オリセット®ネット」
- アニマルニュートリション事業部：飼料添加物 DL-メチオニン／メチオニンヒドロキシアナログ
- 医薬化学事業部：医薬原体・中間体

人々の健やかで豊かな暮らしを、 日々支えています。

住友化学の医薬品事業は、高度な有機合成技術を基盤に、日本で初めて合成医薬品を製造したことに始まります。現在は医療用医薬品事業を中心とする大日本住友製薬(株)と、診断用医薬品事業を中心とする日本メジフィジックス(株)の両社を軸に事業を展開しています。



大日本住友製薬株式会社

循環器・糖尿病、精神神経、スペシャリティ(がん・感染症・希少疾患治療薬など、医療ニーズが高く、高度な専門性が求められる領域)を重点領域として、「アイミクス®」(高血圧症治療剤)、「ロナセン®」(非定型抗精神病薬)、「トレリーフ®」(パーキンソン病治療剤)、「トルリシティ®」(糖尿病治療剤)などを販売しています。

海外展開に積極的に取り組み、米国では、2009年に子会社化したサノビオンを通じて、2011年に「LATUDA®」(非定型抗精神病薬)を発売しました。また、2012年にがん領域の研究開発を専門とする米国バイオベンチャー企業ボストン・バイオメディカルを買収するなど、従来から強みを持つ精神神経領域に加え、がん領域での研究開発にも注力しています。



非定型抗精神病薬「LATUDA®」



研究風景

日本メジフィジックス株式会社

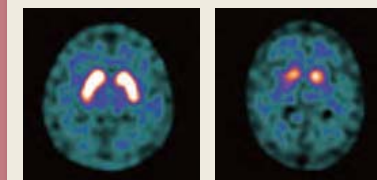
核医学という極めて専門性の高い医療分野において、診断と治療の両分野で事業展開している日本のリーディングカンパニーです。

診断分野では脳血管障害、認知症、心臓病、悪性腫瘍などの画像診断に用いる SPECT 検査薬、悪性腫瘍などの早期診断に有用な PET 検査薬の研究開発、製造、販売を行っています。

また、治療分野では、前立腺がんの小線源療法、がんの骨転移による疼痛の緩和剤などを供給しています。医療現場のさらなるニーズに応えるべく、2014年にはパーキンソン症候群とレビー小体型認知症を対象とする脳疾患診断薬「ダットスキャン® 静注」を発売しました。さらに放射性医薬品の製造・供給で培われた技術と経験を生かし、非臨床・臨床の両ステージで創薬活動のツールとして活用される PET イメージングの受託事業を開始しました。



「ダットスキャン® 静注」



正常例

疾患例(パーキンソン病)

「ダットスキャン® 静注」によるドパミントランスポートシンチグラム
(資料提供：順天堂大学医学部附属 順天堂医院)

枠にとらわれない柔軟な発想を、次の創造へ。

住友化学は、あくなき探究心と独創的な技術で新しい領域に挑み続けてきました。

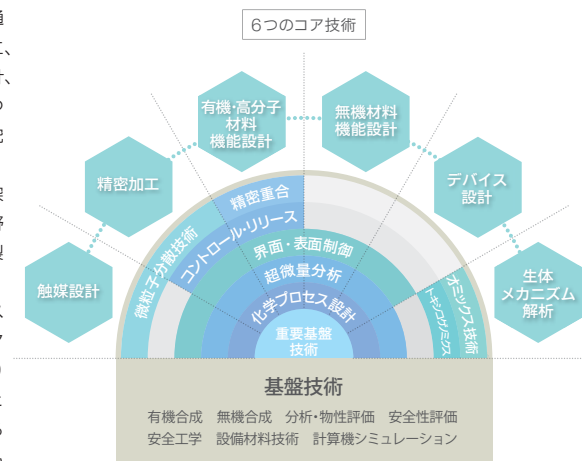
そうした過程で得られた技術や製品は、これまでさまざまな分野に貢献しています。

創造的な研究開発こそが新たな時代を築いていく、という信念のもと、今後とも技術力の強化に努めていきます。

創造的ハイブリッド・ケミストリーの追求

住友化学は、長年にわたる広範な研究活動を通じて培った技術を昇華させ、触媒設計、精密加工、有機・高分子材料機能設計、無機材料機能設計、デバイス設計、生体メカニズム解析という、“6つのコア技術”を育ててきました。住友化学が研究開発において基本戦略としている「創造的ハイブリッド・ケミストリー」は、これら6つのコア技術の深化や基盤技術の充実、さらには社内外の異分野技術との融合によって、より付加価値の高い製品・技術を創出することを意味しています。

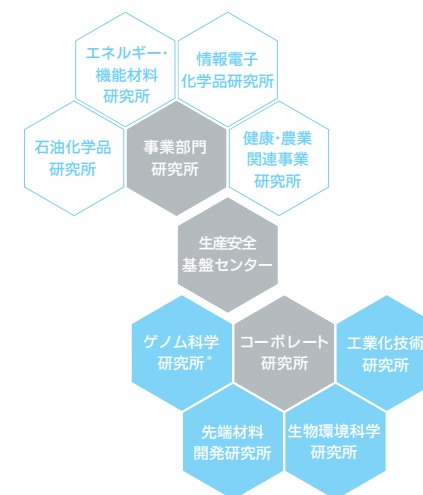
また、素材・材料の開発にとどまらず、ダウンストリーム事業や異業種への展開も視野に入れた「マテリアル・ソリューション・ビジネス」へのつながりを重視しており、研究開発の成果を高い効率とスピードをもって高付加価値事業に結びつけるため、国内外の大学や異業種企業との連携にも積極的に取り組んでいます。



研究開発体制

住友化学の研究体制は、事業部門研究所とコーポレート研究所、生産安全基盤センターから成り立っています。

事業部門研究所では、製造・販売と一体となって、事業活動の維持・強化・拡大に資する製品や基幹・要素技術の研究開発を行っています。一方、コーポレート研究所では、新規事業分野へ進出するための技術開発、コア事業継続にとって競争優位をもたらす共通基盤技術の開発、次世代製品・プロセス開発に関わる長期テーマなどに取り組んでいます。また、生産安全基盤センターでは、保安・防災力や工場の競争力の強化を目指した研究開発を進めるとともに、生産部門の支援活動も積極的に行っています。



* ゲノム科学研究所は大日本住友製薬(株)と共同運営

工業化
技術研究所

工業化技術研究所

ケミカルプロセス・加工生産技術の開発や、既存プロセスの改良に関する工業化研究を行っています。
また、環境技術をはじめとする生産を支えるさまざまな専門の技術に関する研究開発にも取り組んでいます。



生物環境科学研究所

製品の「人の健康」と「環境」に対する影響を、最新の科学知識と最先端の技術を用いて評価しています。
また、トキシコゲノミクスといったオミックス（網羅的解析）研究、ES細胞に関する基礎研究、応用研究などに取り組むことにより、ライフサイエンス研究のさらなる強化とスピードアップを目指しています。

生物環境科学
研究所

ゲノム科学研究所

革新的な新薬の研究開発を加速するために、バイオインフォマティクス、ゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクス解析技術、蛋白構造解析技術、*in silico*創薬技術、などの基盤技術の確立と応用を推進しています。
これらの最先端技術を活用して、新薬の作用機序の解明や特徴づけ、臨床での薬効や副作用を予測するバイオマーカーの探索などを行い、先進的で明快なコンセプトを持つ医薬品の研究開発を目指しています。

ゲノム科学
研究所先端材料
開発研究所

先端材料開発研究所

新たな事業創出を目的とした先端材料開発の拠点として、ICT、環境・エネルギーなどの分野における高機能な新材料の研究開発を幅広く行っています。具体的には、次世代のディスプレイや照明に用いられる高分子有機EL、クリーンエネルギー分野をにらんだ有機薄膜太陽電池、今後ICT分野への応用が期待されるプリンテッド・エレクトロニクス関連材料などの開発に取り組んでいます。
また、オープンイノベーションや当社のグローバルネットワークを活用した新材料の探索研究、構造解析や計算科学と融合した材料設計や合成・加工技術の開発に加え、事業部門と連携してビジネスモデルの検討やブレマーケティングにも注力しています。

石油化学
品研究所

石油化学品研究所

事業の維持・拡大のため、研究効率とスピードを追求したポリマーの開発、触媒や製造プロセスの開発・改良、構造解析などを行っています。高分子設計、有機合成、触媒設計、分析・物性評価、計算機シミュレーションなど、開発を支える基盤技術の質を高め、最新の科学をベースとした技術の確立や、新たな研究テーマの創出を目指しています。

エネルギー・
機能材料
研究所

エネルギー・機能材料研究所

電池部材、高機能樹脂製品、スーパーエンジニアリングプラスチック、低燃費タイヤ用の高性能ゴムや新規添加剤など、環境・エネルギー分野の事業拡大のため、無機材料、高分子材料、有機合成などの幅広い分野で、新規製品創製や既存製品の競争力強化に向けた研究開発に取り組んでいます。
また、事業のグローバル化に対応し、海外拠点と連携した研究開発も推進しています。

情報電子化学
品研究所

情報電子化学品研究所

光学機能性フィルムをはじめとする液晶ディスプレイ用部材、半導体プロセス材料であるフォトレジストなど、情報電子産業を支える製品や技術に関して、幅広い研究開発に取り組んでいます。
顧客ニーズに対応した最先端の製品を、的確・迅速に提供するため、サイオクスや韓国・東友ファインケム、台湾・住華科技などとも連携を図り、事業のグローバル化を支えています。

健康・農業
関連事業
研究所

健康・農業関連事業研究所

健康で衛生的な生活の実現、食糧の増収や農作業の効率化をテーマとして掲げ、有機合成化学、生物学、製剤技術などを基盤に、新しい農業や機能性肥料の開発、より効果的で安全な家庭用殺虫剤や感染症予防技術の開発、医薬化学品の効率的な合成方法の開発に取り組んでいます。
世界各地のニーズを的確に研究開発に反映させるため、海外拠点との連携を図り、事業と研究開発のグローバル化に対応しています。

生産安全
基盤センター

生産安全基盤センター

生産安全基盤センター

保安防災力や工場の競争力の強化を目指し、製造プロセス・設備の安全性や材料診断、コンピュータを用いた製造技術の高度化に関する研究開発を進めています。
また、グローバルな事業環境に適応した生産活動を支援するため、生産や安全に関わる基盤技術の構築にも取り組んでいます。



全国に展開する 研究開発・ 生産拠点の ネットワーク



大分工場

合成染料の国産化を目的として1916年に設立され、国内最大の染料工業会社に発展した、日本染料製造(株)が大分工場の前身です。染料、医薬品の中間体の工場として1939年に操業を開始。1944年、当社との合併に伴い住友化学大分工場となりました。その後、農業事業に進出し、国内のみならず海外にも広く普及した農業用殺虫剤「スミチオン®」の製造を1962年に開始。高度な有機合成技術を駆使し、現在は、幅広い健康・農業関連事業品や、タイヤ用接着剤等の原料レゾルシン、高分子添加剤「スミライザー®GP」などを製造しています。2014年には歌島試験部、岡山プラント、岐阜プラントが生産拠点に加わり、医薬化学品の生産体制を強化。同じ敷地には、大日本住友製薬(株)の医薬品製造工場もあり、住友化学グループのライフサイエンスケミカル事業のグローバル展開を支える中核工場としての役割を担っています。



愛媛工場

1913年、住友が経営する銅の製錬所で問題となっていた煙害を解決するため、亜硫酸ガスから過燐酸石灰を製造することを目的に設立されたのが愛媛工場です。住友化学の事業発祥の地で、愛媛工場は当社の歴史とともにその変遷を遂げてきました。日本の近代工業の発展を背景に工業製品の製造を開始、1958年にはいち早く石油化学分野に進出しました。事業再編の一環で、エチレンおよび一部の誘導品プラントは1983年に休止しましたが、豊富な基幹原料をベースに、カプロラクタム、メタクリル樹脂などのバルク製品から、飼料添加物であるメチオニンなどのファイン製品、光学機能性フィルムなどのエレクトロニクス製品まで、積極的に製品の多角化を進めてきました。2009年には、光学機能性フィルムなどの製造ラインを有する大江地区が、大江工場として発足。新たな事業展開に柔軟に対応するとともに、当社の多様な事業を支えています。



大江工場

2009年4月、光学機能性フィルムやリチウムイオン二次電池用セパレータなどの製造を行っていた愛媛工場の大江地区を加工組立分野の工場として位置づけ、大江工場が発足しました。大江工場は、加工組立型事業に最適な製造・技術開発マネジメントの構築や、技術・人材の蓄積を図り、既存事業の競争力強化と新規事業への対応を通じ、住友化学および住友化学グループの加工組立型事業の発展と成長を支えています。



大阪工場

合成染料の国産化を目的として1916年に設立され、国内最大の染料工業会社に発展した日本染料製造(株)が、大阪工場の前身です。1944年、当社との合併により、住友化学大阪工場となりました。以来、時代の要請に応じて有用な技術や新しい製品を生み続け、当社のファインケミカル製品の中核工場として発展。現在は、敷地内に併設されている研究所とも連携しながら、これまで培った技術を生かしてフォトレジスト、農薬、染料、高分子添加剤等を製造し、多様なニーズにきめ細かく対応しています。



歌島試験部

国内外の新薬メーカーから委託された医薬化学開発のスケールアップ検討を行っています。工場において、安全かつ安定的な商業生産が可能となるよう、必要な化学工業データを取得するなど、実験室での検討と実生産とをつなぐ役割を果たしています。



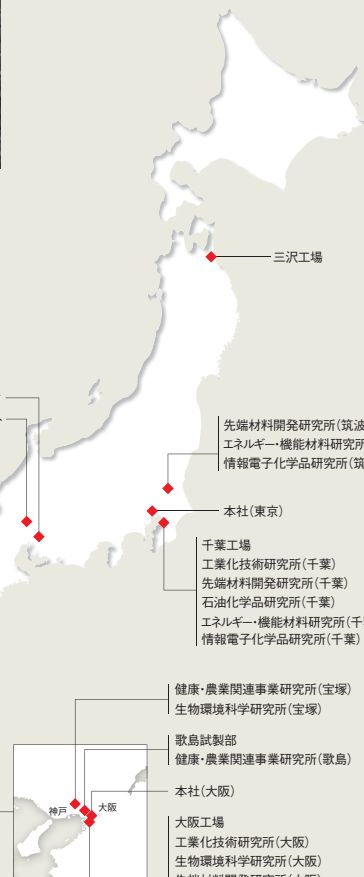
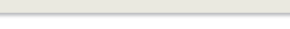
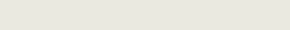
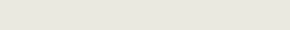
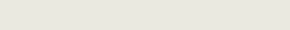
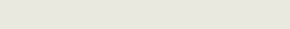
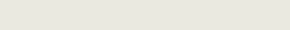
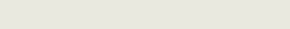
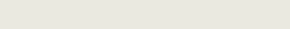
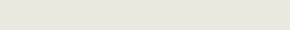
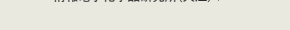
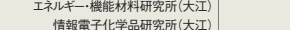
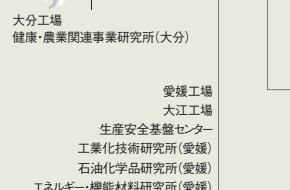
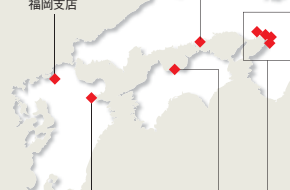
岡山プラント

医薬化学を主とした各種スペシャリティファインケミカル品を生産しています。開発段階の小規模生産から大規模生産まで、各段階に応じた生産が可能であり、多様なニーズに対応できる体制を有しています。



岐阜プラント

医薬化学を主とした各種スペシャリティファインケミカル品を生産しています。近年、要求が高まっている高度な品質管理に対応するとともに、独自製法や新規合成法による高付加価値品の生産比重を高めています。



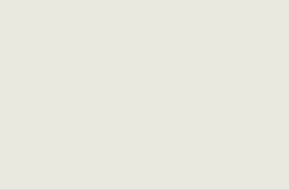
三沢工場

住友化学は、1949年、除虫菊に含まれる殺虫成分の類縁化合物ピレスロイドを工業的に合成する技術を確認し、旧西島工場(大阪府)に「ピナミン®」の製造設備を建設しました。その後の需要拡大に対応するため、1978年、青森県三沢市で新工場の操業を開始。以来、三沢工場は、家庭用、防疫用、農業用など、幅広いピレスロイド系殺虫剤を、世界各国に供給する拠点として、重要な役割を担っています。



千葉工場

1967年、愛媛工場に続き当社の第2の石油化学コンビナートとして、千葉工業地帯で操業をスタートしました。1983年、石油化学事業の再編・合理化計画により、石油化学製品の生産を千葉工場に集約。既存製品の能力を増強するとともに、愛媛工場の一部誘導品の製造を引き継ぎ一層の競争力強化を図りました。現在は合成樹脂、合成ゴム、有機薬品のほか、化合物半導体(MO-エビウエハ)などの電子材料分野の製品も展開しています。高付加価値製品の強化・拡充に努めるとともに、製造技術の新規開発、ブラッシュアップを推進し、シンガポールやサウジアラビアにおける大型海外プロジェクトを支援。グローバルな石油化学部門の事業展開の中核となるマザー工場としての役割を担っています。



◆ 石油化学部門

Sumika Polymers North America LLC
Sumika Polymer Compounds America, Inc.
Sumika Polymer Compounds Europe Ltd.
Rabigh Refining and Petrochemical Company
Rabigh Conversion Industry Management Services Company
Sumitomo Chemical Polymer Compounds Saudi Arabia Company Ltd.
Singapore Methyl Methacrylate Pte. Ltd.
Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd
Petrochemical Corporation of Singapore(Pte.)Ltd.
The Polyolefin Company (Singapore) Pte. Ltd.
Sumipex (Thailand) Co., Ltd.
Sumika Polymer Compounds (Thailand) Co., Ltd.
吉林省東承住化汽車複合塑料有限公司
珠海住化複合塑料有限公司
大連住化複合塑料有限公司
Sumipex TechSheet Co., Ltd.
NOC Asia Limited
LG MMA Corp.

◆ エネルギー・機能材料部門

Sumika Ceramics Poland Sp.zo.o.
Bara Chemical Co., Ltd.
New Zealand Aluminium Smelters Ltd.

◆ 情報電子化学部門

Sumitomo Chemical Advanced Technologies LLC
住化電子材料科技(無錫)有限公司
住化華北電子材料科技(北京)有限公司
住化電子材料科技(西安)有限公司
住化電子材料科技(合肥)有限公司
住化電子材料科技(上海)有限公司
住化電子管理(上海)有限公司
住化電子材料科技(深圳)有限公司
住化電子材料科技(重慶)有限公司
住華科技股份有限公司
SSL Co., Ltd.
東友ファインケム株式会社

◆ 健康・農業関連事業部門

Valent U.S.A. LCC
Valent BioSciences LCC
McLaughlin Gormley King Company
Pace International, LCC
Mycorrhizal Applications, LLC
Sumitomo Chemical do Brasil Representações Limitada
Kenogard S.A.
Sumitomo Chemical (U.K.), plc.
Philagro France S.A.S
Sumitomo Chemical Agro Europe S.A.S.
Philagro Holding S.A.
Sumitomo Chemical Italia S.r.l.
Philagro South Africa (Pty) Ltd.
Vector Health International Ltd.
Sumitomo Chemical East Africa Limited

◆ 医薬品部門

Sunovion Pharmaceuticals Inc.
Sumitomo Dainippon Pharma America Holdings, Inc.
Boston Biomedical, Inc.
Tolero Pharmaceuticals, Inc.
Sunovion Pharmaceuticals Europe Ltd.
Sunovion Pharmaceuticals Asia Pacific Pte. Ltd.
住友製薬(蘇州)有限公司

◆ その他

Sumitomo Chemical America, Inc.
Sumitomo Chemical Europe S.A./N.V.
Cambridge Display Technology Limited
S.C.C. Insurance Pte. Ltd.
住友化学投資(中国)有限公司
Sumitomo Chemical Turkey Kimya Sanayi Ve Ticaret Anonim Sirketi

ますます広がる
グローバルな
ネットワーク



守りたいもの、伝えていきたいものがあります。

住友化学の事業は1913年、四国の別子銅山において、銅の製錬の際に生じる排出ガスによる環境問題を緩和するため、その排出ガスから過燐酸石灰を製造し、農産物の収量拡大に役立つ肥料を供給したことに遡ります。以来、利益の拡大だけでなく、事業を通じて社会に貢献するという創業の精神は、今日まで脈々と受け継がれています。住友化学は、事業活動を行うにあたっては「レスポンス・ケア活動」「経済性の追求」「社会的活動」の三つの領域それぞれに積極的に取り組むCSR経営を実践しています。そして、社会の持続的な発展を目指して、世界の人々の暮らしを支える製品や技術を、社会や環境に望ましい形で提供し続ける「サステナブル・ケミストリー」を推進しています。

CSR基本方針

住友化学グループは、新しい価値を生みだし、提供しつづけることによって、企業価値を向上させ、人々の豊かな暮らしづくりや、私たちの社会や地球環境が抱える問題の解決に貢献してまいります。そのためには、住友化学グループは経済性の追求、安全・環境・品質保証活動、社会的活動のそれぞれに積極的に取り組み、また株主、社員、取引先、地域社会の方々等、関係するあらゆるステークホルダーの皆様に関心に配慮しながら、CSR活動を推進してまいります。これらの取り組みを通じて、社会の持続可能な発展に大きな役割を果たし、同時に自らも発展を続け、住友化学グループが21世紀を目指す姿である「真のグローバル・ケミカルカンパニー」となることを実現したいと思います。

住友の事業精神や企業行動憲章を踏まえて制定したCSR基本方針のもとで、具体的な取り組みを制定し、CSR活動を実施しています。



レスポンス・ケア活動

レスポンス・ケア活動

レスポンス・ケアとは、化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至るすべての過程において、安全・環境・健康を確保するとともに高い品質の維持・向上を目指す自主的な活動です。

住友化学は、「労働安全衛生」「保安防災」「環境保全・エネルギー」「化学品安全」および「製品責任」の分野ごとに目標を設定してレスポンス・ケアに取り組むとともに、その取り組みの内容を客観的に評価するために「レスポンス・ケア監査」を実施しています。

◆ 環境保全・エネルギー

エネルギー・資源の一層の効率的利用と、排ガス（温室効果ガスを含む）、排水、廃棄物といった環境中に排出される一連の環境負荷物質の発生量低減を目指し、運転方法の改善、設備・機器効率の改善、さらにはプロセスの合理化などに取り組んでいます。

◆ 労働安全衛生

「安全をすべてに優先させる」という基本理念のもと、災害の未然防止、働く人の安全と健康の確保を目指し、設備の改善やOSHMS[※]（労働安全衛生マネジメントシステム）の運用などに取り組んでいます。

※OSHMS……事業所における安全衛生水準の向上を図ることを目的として、計画的かつ継続的に安全衛生管理を推進するためのシステム。

◆ 保安防災

プロセスの安全性と設備の健全性を確保し、プラントの事故を未然に防止するために、プロセスの研究開発からプラントの設計・建設を経て運転・維持、さらには設備の廃棄に至るまで、各ステージにおける安全性の評価を行い、環境への配慮と無事故・無災害の継続に努めています。また、プラントのリスク評価を徹底するとともに、安全対策の継続的強化や自主保安管理体制の充実を図っています。



粉じん爆発実験の様子。潜在危険の発見能力と対処能力を同時に養うことを目的として「火災爆発体感研修」を行っています

◆ 化学品安全

科学的な根拠に基づく化学物質の管理を推進し、リスクの概念に基づく化学品の適切な管理に積極的に取り組んでいます。

安全性研究の中核を担う生物環境科学研究所を中心に、長年にわたり蓄積してきた安全性評価に関する豊富な知見と最新の科学知識および先端技術を駆使し、化学品のリスク評価を迅速かつ精緻に実施しています。

◆ 製品責任

お客さまが満足し、かつ安心して使用できる品質の製品とサービスの提供を目指し、さまざまな取り組みを行っています。研究開発から製造を経て販売にいたるまで、各段階で法規制を遵守するだけでなく、「製造物責任」の考え方に基いて多面的なリスク評価を実施し、対策を講じることで、安全性の高い製品の開発・製造に努めています。

◆ レスポンス・ケア監査

住友化学には専任のレスポンス・ケア監査組織があり、レスポンス・ケアに関する知識・経験と監査技術を備えたレスポンス・ケア専門監査員が中心になって、社内はもとより、国内外のグループ会社を直接訪問して、効果的な監査を実施しています。

地域貢献

世界貢献

社会貢献活動

住友化学は、「事業を通じて社会の持続可能な発展に貢献する」との考え方にに基づき、「地球環境が抱える課題解決」「地域との共存共栄」という視点から、「住友化学グループらしい」社会貢献活動を推進しています。

国内外の事業所、グループ会社において、地域のニーズに合わせた多様な活動を展開し、地域の皆さまとの良好な関係の構築に努めています。

◆ 地域貢献

工場・研究所見学、地域対話集会の開催、地域で行われる催事への参加などを通じて、適切な情報開示と地域の方々とのコミュニケーションを図り、当社の事業への理解を深めていただくとともに、地域との良好な関係を構築・維持することに努めています。



愛媛工場・大江工場では、毎年10月に開催される「新居浜太鼓祭り」の翌日に、近隣の関係会社と共同で清掃活動を実施しています

また、未来を担う子どもたちに「化学」に対する興味を持ってもらうため、地元の中高生をインターンシップ生として受け入れたり、理科の「出前授業」を開催するなど、地域のニーズに合わせた総合化学企業らしいさまざまな活動に取り組んでいます。



子どもたちにモノづくりの楽しさと感動を伝える「市原・袖ヶ浦少年少女発明クラブ」。2002年から、千葉工場が中心となって活動を続けています

◆ 世界貢献

マラリアを媒介する蚊から身を守るための防虫蚊帳「オリセツト®ネット」を独自技術により開発し、アフリカを中心に供給しています。急増する需要に対応するため、生産体制を整える過程において、タンザニアの蚊帳メーカーに技術を無償供与し、2003年から現地生産をスタートしました。現在では、最大で約7,000名の現地雇用を創出しています。また、「オリセツト®ネット」事業の売上げの一部を使って、特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン、公益財団法人プラン・ジャパンと連携し、タンザニア、ケニア、ガーナなどを含む12カ国(2017年3月現在)で小学校を建設するなど、教育支援も行っています。



写真上:タンザニアの工場における「オリセツト®ネット」縫製の様子
写真下:住友化学の支援により建設された校舎で学ぶ子どもたち

■ 会 社 名	住友化学株式会社
■ 創 業	1913年 9月22日
■ 営業開始	1915年10月 4日
■ 設 立	1925年 6月 1日
■ 資 本 金	89,699百万円

◆ 沿革

1913年、愛媛県の別子銅山で、銅の製錬の際に生じる排ガスによる環境問題を緩和するため、その排ガスから肥料となる過磷酸石灰を製造する「住友肥料製造所」が新居浜に設置されました。これが、住友化学の事業の発祥です。以来、時代とともに多様な事業を展開し、社会の持続的な発展に寄与してきました。

当社は1958年、石油化学コンビナートを新居浜に建設。1965年には千葉臨海地区にも進出し、石油化学事業を強化しました。海外では、1984年、当社を中心とする日本側出資会社とシンガポール政府(後に持分をロイヤル・ダッチ・シェルに譲渡)との合弁でシンガポール石油化学コンビナートが操業を開始。1997年にはエチレン年産100万吨規模に拡大し、世界の主要地であるアジア地域に合成樹脂などを供給しています。さらに、2005年には、サウジ・アラムコと合弁でラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニーを設立し、サウジアラビアにおける大規模石油精製・石油化学統合コンプレックスを2009年に稼働させるなど、グローバルに事業を展開しています。また、2015年に、エネルギー・機能材料部門を新設。環境負荷の低減や省資源・省エネルギーに貢献する機能化学品を生産・販売しています。

◆ 略年史

1913年(大正 2年) 9月	住友総本店の直営事業として愛媛県新居浜に肥料製造所を設置	2000年(平成12年) 10月	住友製薬(株)と共同運営のゲノム科学研究所を同社研究本部に設立
1915年(大正 4年) 10月	営業開始(過磷酸石灰初出荷)	2001年(平成13年) 5月	アベンティス・クロップサイエンスから家庭用殺虫剤関連事業を買収
1925年(大正14年) 6月	株式会社住友肥料製造所として独立新発足(現在の愛媛工場)	2001年(平成13年) 10月	情報電子化学部門を新設
1934年(昭和 9年) 2月	住友化学工業株式会社に商号変更	2002年(平成14年) 11月	武田薬品工業(株)の農業事業を同社との合弁会社住化武田農業(株)に譲り受けて営業開始(2007年吸収合併)
1944年(昭和19年) 7月	日本染料製造(株)を合併して、染料、医薬品部門に進出(現在の大阪・大分工場)	2003年(平成15年) 3月	韓国の子会社、東友STIで液晶ディスプレイ用カラーフィルター大型生産設備の操業開始
1946年(昭和21年) 2月	日新化学工業株式会社に商号変更	2003年(平成15年) 8月	韓国の子会社、東友光学フィルムで液晶ディスプレイ用偏光フィルム一貫生産設備の操業開始
1949年(昭和24年) 12月	旧住友アルミニウム製錬(株)から全設備を譲り受け	2004年(平成16年) 3月	台湾の子会社、住華科技で液晶ディスプレイ用偏光フィルム一貫生産設備の操業開始
1952年(昭和27年) 8月	住友化学工業株式会社に商号復帰	2004年(平成16年) 10月	住友化学株式会社に商号変更
1958年(昭和33年) 5月	愛媛工場で、エチレンおよび誘導品の生産を開始し、石油化学部門へ進出	2005年(平成17年) 9月	サウジ・アラムコと合弁でラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー(ペトロ・ラービグ)を設立
1965年(昭和40年) 11月	中央研究所(高槻)を設置(2003年3月閉鎖)	2005年(平成17年) 9月	住友製薬(株)と大日本製薬(株)が合併し、大日本住友製薬(株)となる
1965年(昭和40年) 11月	住友千葉化学工業(株)を設立(75年同社を合併、現在の千葉工場)	2007年(平成19年) 9月	高分子有機ELデバイス開発のバイオニアであるケンブリッジ・ディスプレイ・テクノロジーを完全子会社化
1971年(昭和46年) 7月	宝塚総合研究所を設置、医薬・農業部門の研究体制を強化	2009年(平成21年) 4月	ペトロ・ラービグの石油精製・石油化学統合コンプレックスの基幹プラントであるエタングラッカーが操業開始
1976年(昭和51年) 7月	住友アルミニウム製錬(株)を設立(同社にアルミニウム事業を譲渡、86年同社解散)	2009年(平成21年) 10月	大日本住友製薬(株)が米国の医薬品会社セブラコル(現在のサノビオン)を買収
1978年(昭和53年) 1月	三沢工場の操業開始により、ピレスロイド系家庭用殺虫剤の生産体制を強化	2011年(平成23年) 4月	精密化学部門を廃止・再編、農業化学部門を健康・農業関連事業部門へ改称
1982年(昭和57年) 2月	インドネシア・アサハ・アルミニウムが操業開始	2015年(平成27年) 4月	基礎化学部門、石油化学部門を再編、石油化学部門とエネルギー・機能材料部門に改組
1983年(昭和58年) 1月	愛媛工場のエチレンプラントおよび誘導品の一部を休止し、千葉工場へ生産集中	2016年(平成28年) 4月	ペトロラービグの第2期エタングラッカーが操業開始
1984年(昭和59年) 2月	福畑産業(株)との間で住友製薬(株)を設立(1984年営業開始)	2017年(平成29年) 2月	韓国の子会社、SSLMでリチウム二次電池用セバレータ製造設備が操業開始
1984年(昭和59年) 3月	シンガポール石油化学コンビナートが操業開始		
1988年(昭和63年) 6月	大阪工場内に安全性研究棟を設置(現在の生物環境科学研究所)		
1989年(平成元年) 3月	筑波研究所(現在の先端材料開発研究所)を設置		
1997年(平成 9年) 4月	シンガポール石油化学コンビナート第2期設備が操業開始		
1998年(平成10年) 10月	シンガポールでのMMA・アクリル酸プロジェクトの全設備が完成		